

令和7年度島根県立盲学校理療科教育職員（教諭）  
採用候補者選考試験

専門教養試験問題

第1問題

次の問1～問20について、1.～3. から適切なものを一つ選んでその番号を解答用紙に書きなさい。

問1 長期療養が必要な要介護者に対し、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療や日常生活上の世話を行う施設はどれか。

1. 介護老人福祉施設
2. 介護老人保健施設
3. 介護医療院

問2 肩関節 180° 外転時における上腕骨と肩甲骨の動きの割合について正しいものはどれか。

1. 上腕骨と肩甲骨の動く角度はともに 90° である。
2. 上腕骨は 60° 動き、肩甲骨は 120° 動く。
3. 上腕骨は 120° 動き、肩甲骨は 60° 動く。

問3 あはき法で、50万円以下の罰金となるものはどれか。

1. 施術者が患者に消炎鎮痛剤を投与した場合
2. 施術者が守秘義務に違反した場合
3. はり師が消毒の義務に違反した場合

問 4 消毒薬について正しいものはどれか。

1. 逆性石鹼をアルコールと混ぜて使用してはならない。
2. ポビドンヨードは粘膜に用いてはならない。
3. 消毒用エタノールは芽胞に効力がない。

問 5 認知症の評価に用いられる検査法はどれか。

1. アシュワース・スケール
2. バーセル・インデックス
3. MMSE

問 6 肺野の打診で鼓音を呈するのはどれか。

1. 気胸
2. 肺癌
3. 胸水の貯留

問 7 成人のバイタルサインで正常範囲にあるのはどれか

1. 安静時脈拍数 100 拍／分
2. 安静時呼吸数 16 回／分
3. 安静時拡張期血圧 95mmHg

問 8 下位運動ニューロン障害で見られるのはどれか。

1. 痙性麻痺
2. 病的反射陽性
3. 深部反射減弱

問 9 COPDでみられるのはどれか。

1. 漏斗胸
2. 1秒率の低下
3. クモ状指

問 10 B型肝炎について正しいものはどれか。

1. 性交渉や針刺し事故で感染する。
2. 我が国における肝細胞癌の原因で最も多い。
3. 有効なワクチンはない。

問 11 ニューロンと血液の間での物質交換に関与するのはどれか。

1. ミクログリア
2. アストロサイト
3. オリゴデンドロサイト

問 12 受容体について正しいものはどれか。

1. 骨格筋にはニコチン受容体が存在する。
2. 胃腸管の平滑筋収縮に関与するのは $\beta$ 受容体である。
3. 自律神経の節後ニューロンの細胞体にはムスカリン受容体が存在する。

問 13 自原抑制について正しいものはどれか。

1. I b群求心性線維の興奮によって生じる。
2. 筋の過度の伸張反射を防ぐ
3. 拮抗筋の $\alpha$ 運動ニューロンの活動を抑制する。

問 14 杆菌が原因で起こるのはどれか。

1. 結核症
2. 梅毒
3. 流行性耳下腺炎

問 15 悪性腫瘍について誤っているものはどれか。

1. 肉腫には蜂巣構造がみられない。
2. 癌腫はリンパ行性に転移しやすい。
3. 成熟型腫瘍に分類される。

問 16 IV型アレルギーについて正しいものはどれか。

1. ホルモン受容体が刺激されて起こるアレルギーである。
2. 細胞性免疫に関連するアレルギーである。
3. 赤血球などの細胞自身が抗原となるアレルギーである。

問 17 血癍でみられる脈状はどれか。

1. 指先に玉を転がすような滑らかな脈
2. 浮位で触れ、水面に綿を浮かべたような極めて軟らかい脈
3. 小刀で竹を削るときのようなザラザラした感じの脈

問 18 鍼による補瀉について誤っているものはどれか。

1. 患者の吸気時に刺入し、呼気時に抜鍼するのは瀉法である。
2. 浅く入れて、後に深くするのは補法である。
3. 速刺速抜するのは補法である。

問 19 乳根穴の2肋間下にと穴する経穴はどれか。

1. 不容
2. 日月
3. 期門

問 20 陽蹻脈について正しいものはどれか。

1. 金門から起こり、陽交に交わる。
2. 築賓から起こり、大腿内側を上る。
3. 膀胱経の別脈といわれ、申脈から起こる。

## 第2問題

次の問1～問20について、1.～4.から適切なものを一つ選んでその番号を解答用紙に書きなさい。

問1 気管と気管支について正しいものはどれか。

1. 気管の上端は第3頸椎の高さである。
2. 気管の壁は輪状の気管軟骨が積み重なってできている。
3. 気管の前壁は膜性壁とよばれる。
4. 右気管支は太くて短く、垂直に近く傾斜する。

問2 心臓と血管との関係について正しいものはどれか。

1. 右心房には上大静脈が注ぐ。
2. 右心室には下大静脈が注ぐ。
3. 左心房からは大動脈が出る。
4. 左心室には肺静脈が注ぐ。

問3 中脳について誤っているものはどれか。

1. 大脳脚は脊髄から大脳皮質に上行する伝導路の束よりなる。
2. 黒質は主として筋緊張の調節にあたる。
3. 眼球運動に関する脳神経核を含む。
4. 中脳水道は第3脳室と第4脳室を連結する。

問4 網膜について正しいものはどれか。

1. 最外層には双極細胞層がある。
2. 視細胞において光を感覚するのは外節である。
3. 視細胞のうち錐体は視神経円板に存在する。
4. 視細胞のうち杆体は色覚に関与している。

問 5 大腿骨について正しいものはどれか。

1. 前面には転子間稜がある。
2. 粗線外側唇には大腿二頭筋短頭が付着する。
3. 殿筋粗面には中殿筋が付着する。
4. 内側顆と外側顆の間から顆間隆起が突出する。

問 6 筋とその支配神経との組合せで正しいものはどれか。

1. 三角筋 ————— 腋窩神経
2. 腕橈骨筋 ————— 正中神経
3. 大腿筋膜張筋 —— 大腿神経
4. 前脛骨筋 ————— 脛骨神経

問 7 上腕の屈筋群について正しいものはどれか。

1. 上腕二頭筋長頭は関節上結節から起始する。
2. 上腕筋は肘関節の屈曲と前腕の回外を行う。
3. 上腕筋は上腕二頭筋の浅層にある。
4. 烏口腕筋は橈骨粗面に停止する。

問 8 上腕骨小結節に停止し、肩関節を内旋する筋はどれか。

1. 大胸筋
2. 棘下筋
3. 肩甲下筋
4. 大菱形筋

問 9 急性糸球体腎炎について正しいものはどれか。

1. 大腸菌感染が主な原因である。
2. 低血圧はほとんどの症例で見られる。
3. 浮腫は下肢に初発することが多い。
4. 血清クレアチニンが上昇する。

問 10 関節リウマチについて誤っているものはどれか。

1. 女性に多い。
2. 自己免疫疾患である。
3. 左右非対称の関節腫脹や疼痛がみられる。
4. 抗CCP抗体が陽性となる。

問 11 ホルモンの作用について誤っているものはどれか。

1. サイロキシンは血清コレステロールを増加させる。
2. アルドステロンは細胞外液量を増加させる。
3. 黄体形成ホルモンはテストステロンの生成を促す。
4. プロジェステロンは子宮内膜の腺分泌を促す。

問 12 古代九鍼の鑱鍼について正しいものはどれか。

1. 頑固な疾患に対して刺絡や排膿に用いる。
2. 手足の末端付近の経穴を按じて補瀉を行うのに用いる。
3. 擦ることによって筋肉の間にある邪気を除くのに用いる。
4. 浅く刺して皮膚の表面にある邪熱を除くのに用いる。



問 13 九変に応ずる刺法について正しいものはどれか。

1. 分刺は皮膚のごく浅いところを指す方法である。
2. 輸刺は十二経脈の栄輸・臟輸を指す方法である。
3. 巨刺は痛みが身体上部にあるとき身体下部の経穴を刺鍼する方法である。
4. 毛刺は鈹鍼を用いて大膿を刺す方法である。

問 14 腎の生理作用で誤っているものはどれか。

1. 生理物質を漏らさずに蓄える。
2. 納気を主る。
3. 志を蔵す。
4. 百脈を朝じ、治節を主る。

問 15 東洋医学における外因について誤っているものはどれか。

1. 風邪には軽揚性の性質がある。
2. 湿邪には下注性の性質がある。
3. 燥邪には遊走性の性質がある。
4. 寒邪には収引性の性質がある。

問 16 命門火衰の説明で正しいものはどれか。

1. 腎の固摂作用が低下した病証である。
2. 腎の陰液が不足した虚熱病証である。
3. 腎の陽気が不足し、温煦作用が低下した虚寒病証である。
4. 腎精の不足により精の機能が低下した病証である。

問 17 新脊髄視床路について誤っているものはどれか。

1. 1次ニューロンは同側の脊髄後角の膠様質に連なる。
2. 2次ニューロンは同側の側索を上行する。
3. 2次ニューロンは延髄内側毛帯の背外側を通過して視床の後外側腹側核に連なる。
4. 3次ニューロンは大脳皮質の中心後回に終わる。

問 18 石関穴の部位はどれか。

1. 上腹部、臍中央の上方4寸、前正中線の外方5分。
2. 上腹部、臍中央の上方3寸、前正中線の外方5分。
3. 上腹部、臍中央の上方3寸、前正中線の外方4寸。
4. 上腹部、臍中央の上方2寸、前正中線の外方2寸。

問 19 五兪穴について正しいものはどれか。

1. 榮穴は脈気がしたたるところで末端穴から2番目にある。
2. 兪穴は脈気が出るところで、末端穴から3番目にある。
3. 経穴は脈気が注ぐところで、上肢では手関節付近または前腕下部に、下肢では足関節付近または下腿下部に存在する。
4. 合穴は脈気が行くところで、上肢では肘関節付近に、下肢では膝関節付近に存在する。

問 20 管散術について正しいものはどれか。

1. 鍼尖が目的の深さに達したら、鍼柄を持った刺手で振せんをかけて鍼にその振動を伝える方法。
2. 刺入した鍼の周囲の皮膚面に、鍼管または指頭で圧迫・叩打・振せんなどを行い刺激を与える方法。
3. 鍼を目的の深さに刺入してから再びその鍼に鍼管をかぶせ、その上端を刺手の示指で数十回叩打する方法。
4. 鍼を用いず、ただ鍼管を皮膚上に立ててその上端を軽く叩打して刺激を与える方法。